

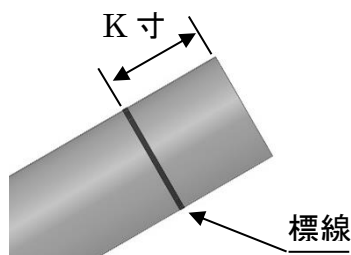
⚠ 注意

- ・ ストップリング内面は素手で触ると危険ですので十分注意して下さい。
- ・ 標線を記入せずに接合した場合、挿入不足または突き当て施工によるパッキンの締付トルク不足によって漏水につながる恐れがあります。

① パイプ挿入量記入

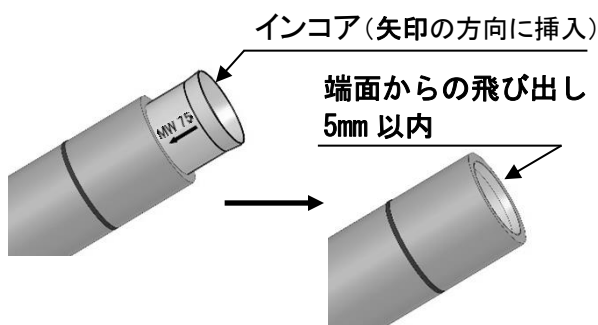
パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線**を記入して下さい。

- 〔・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。〕
- 〔・滑剤の塗布は不要です。〕



② インコア挿入

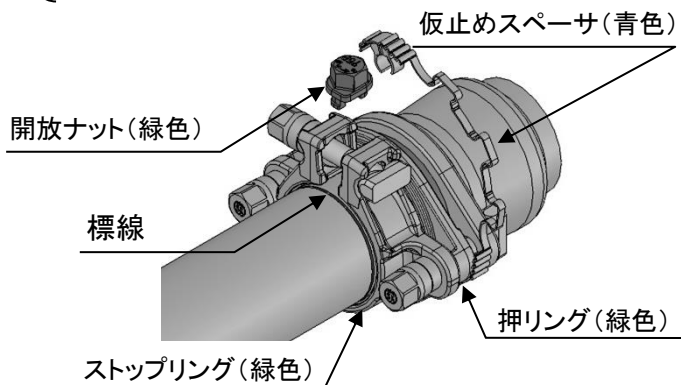
インコアを矢印の方向に挿入して下さい。
(パイプ端面よりインコアが5mm 以上飛び出さないように、
樹脂製ハンマーで打ちこんで下さい。)



③ パイプ挿入

分解せずに継手を標線まで入れ、仮止めスペーサと開放ナット(緑色)を取り外します。

- ・ 仮止めスペーサが外れにくい場合は押リング締付ナットを少し緩めて下さい。
- ・ 開放ナットの外し方は、開放ナットを「S」の方向(左回り)に回して取り外して下さい。



□K 寸とボルトサイズ表

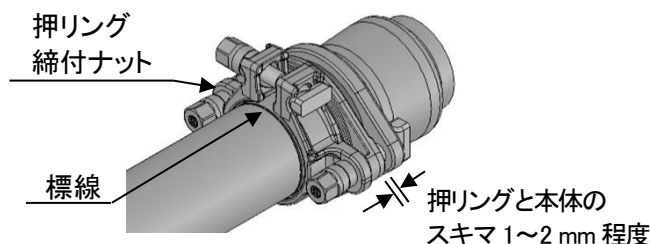
呼び径	K 寸 (mm)	ボルトサイズ (参考: 締付トルク N・m)	
		押リング	ストップリング
50	90	M16 (30)	M16 (35)
75	100	M16 (35)	M16 (35)

低温時は締付トルクが高くなります。

④ 押リング仮締め

ストップリングを**標線**と合わせた状態で、押リングと本体のスキマが 1~2mm になるまで、**押リング締付ナット**を均等に締め付けて下さい。

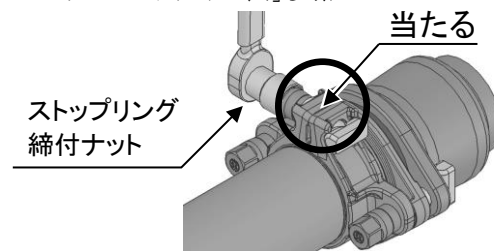
(締め過ぎてスキマが 0mm になった場合はゆるめて下さい。)



⑤ ストップリング本締め

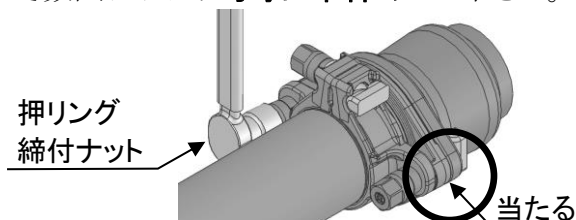
ストップリング先端が当たるまでストップリング締付ナットを**本締め**して下さい。

「K 寸とボルトサイズ表」参照

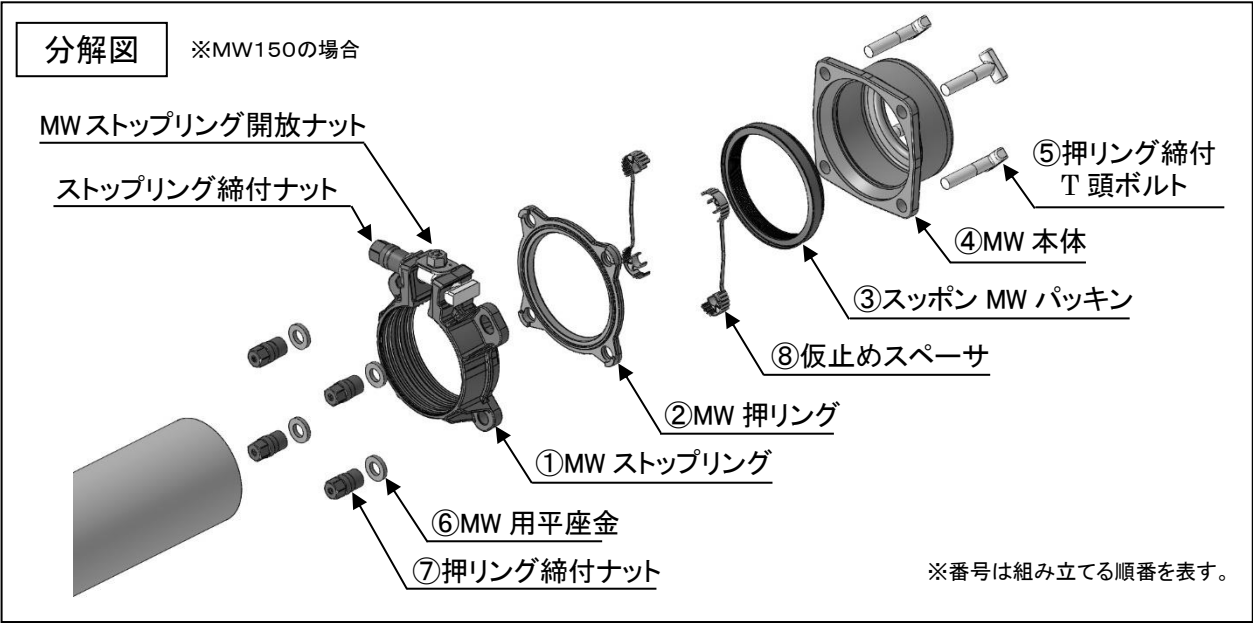


⑥ 押リング本締め

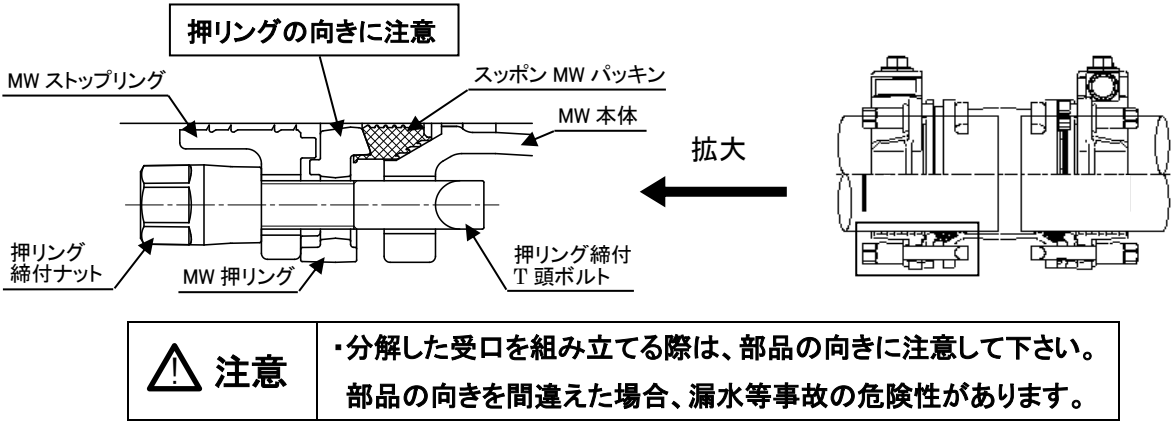
押リング締付ナットを押リングが本体に**当たる**まで数回にわたり**均等**に本締めして下さい。



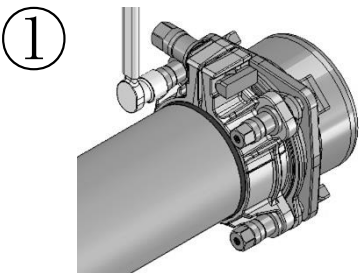
1. 分解した時の施工手順



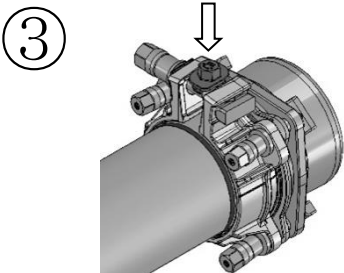
2. 分解施工時の注意事項



3. 取り外し手順



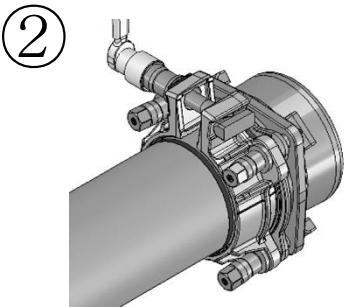
押リングを緩めて下さい。



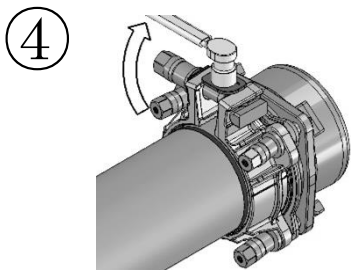
ストップリング先端のスキマに開放ナットを挿入して下さい。

開放ナットサイズ

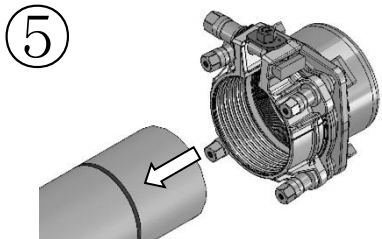
呼び径	ナットサイズ	対辺
40	M16	24
50	M16	24
75	M16	24
100	M16	24
150	M20	30
200	M24	36



ストップリングを分解しない程度まで緩めて下さい。



開放ナットを「O」の方向（右回り）に 90° 回す。



ストップリングが開放されますのでパイプを外して下さい。
（開放ナットが外れることがあるので注意して下さい。）